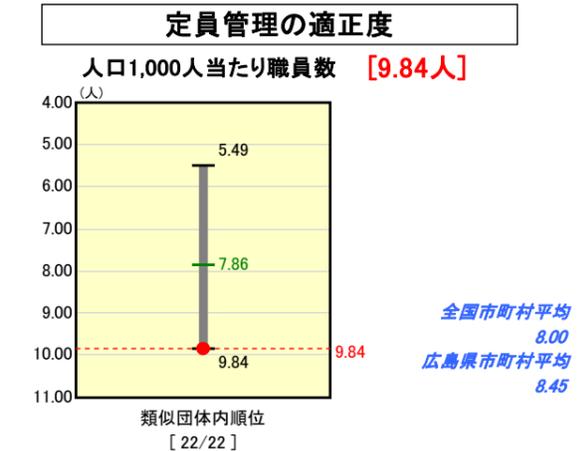
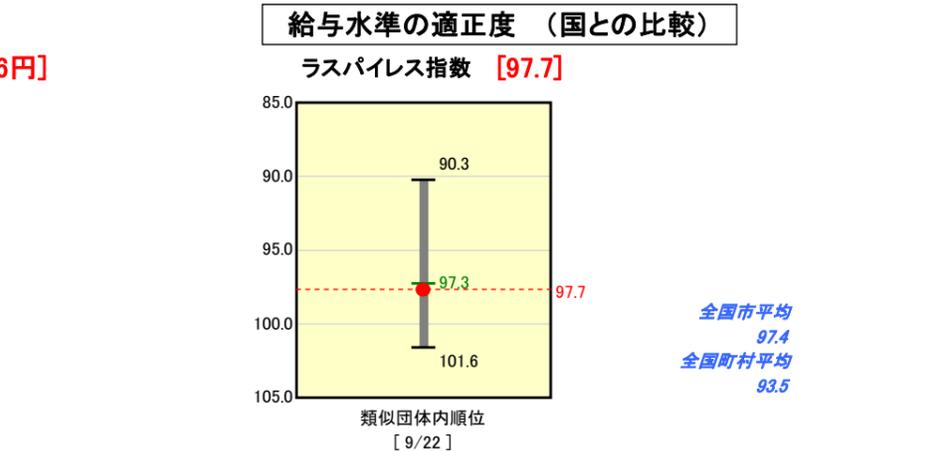
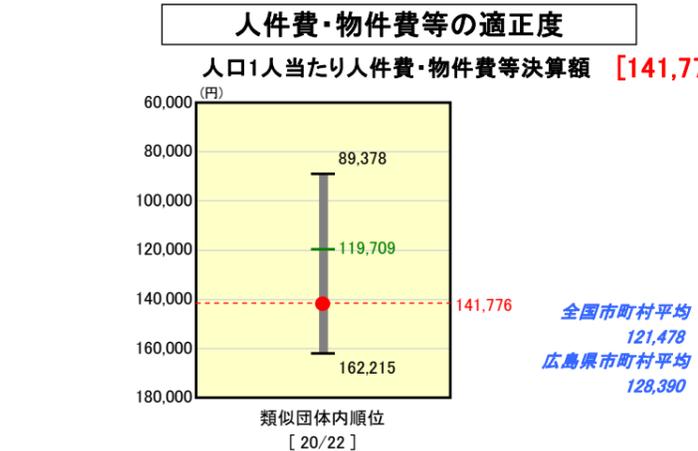
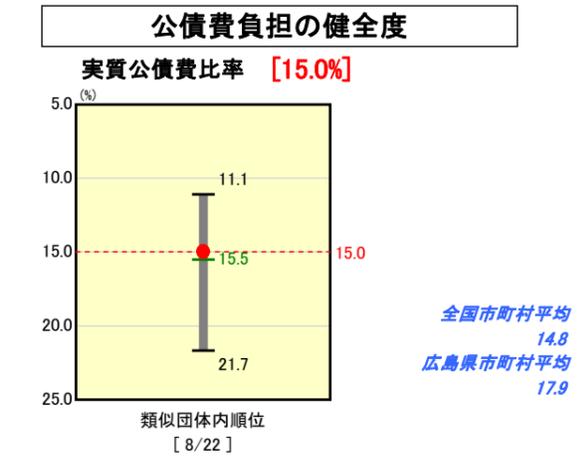
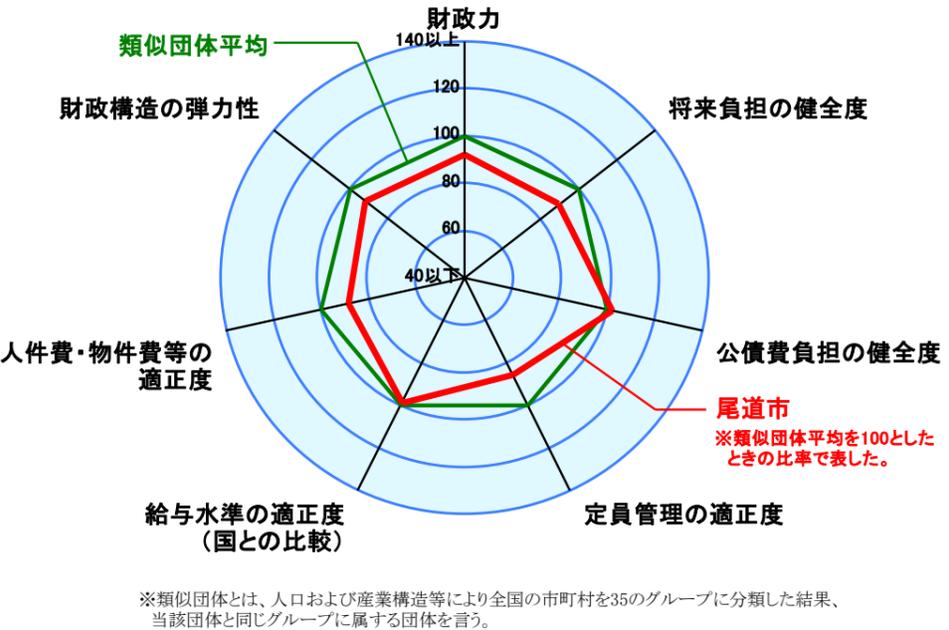
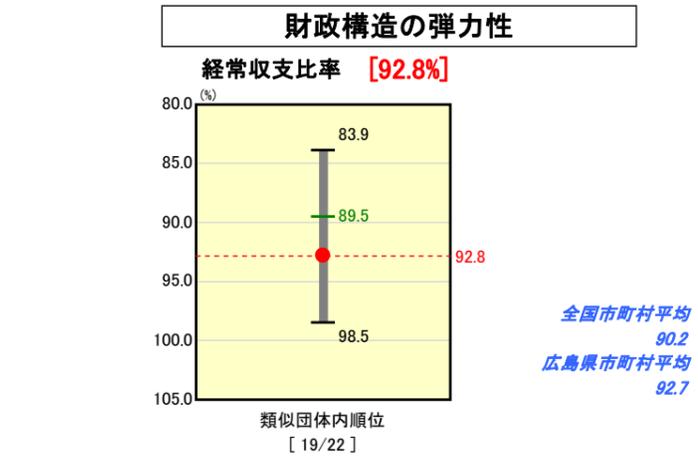
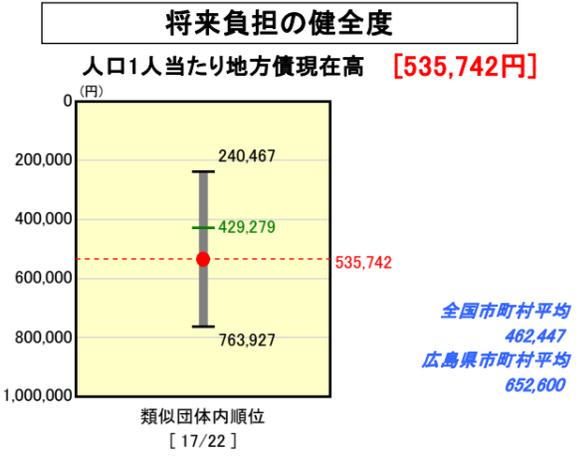
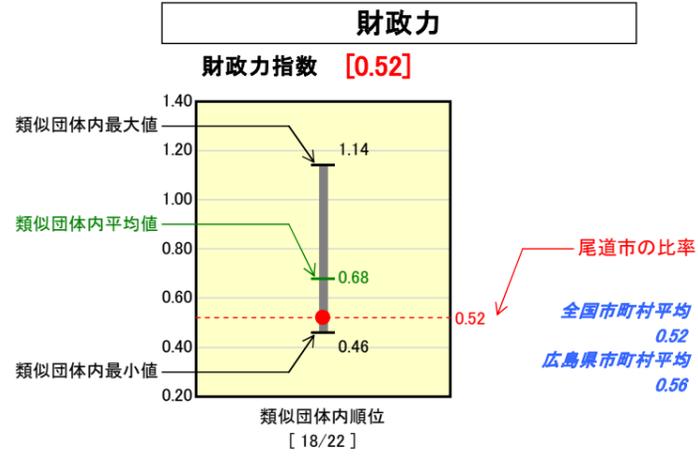


市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

広島県 尾道市

人口	153,064人	(H18.3.31現在)
面積	284.85	km ²
歳入総額	62,124,408	千円
歳出総額	61,776,402	千円
実質収支	280,193	千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

【財政力指数】
 ・平成17年度は前年度を下回り0.52となった。元来、税収が少ない脆弱な財政基盤で、更に2回にわたる合併では財政力の低い市町と合併した影響もあり、類似団体平均に比べて低い数値になっている。今後とも、自主財源の確保を図り、経常経費の抑制に努力する。

【経常収支比率】
 ・退職者の一部不補充を中心とした人件費の削減に取り組んできたため、平成14年度においては83.7%と県内都市で最も低い数値であったが、その後、2回にわたる合併の影響などにより、平成15年度82.4%、平成16年度87.9%と年々悪化し、平成17年度は扶助費、繰出金などの増加などもあり92.8%となり、財政の弾力性が失われる傾向にある。今後とも上昇することが予想されるが、合併効果による経常経費縮減に努力する。

【人口1人当たり人件費・物件費等決算額】
 ・類似団体と比べて、約2万2千円高くなっている。これは、2回の合併直後であり、人口1人当たりの人件費の割合が高いのが主要因である。

【ラスパイレス指数】
 ・97.7で、類似団体平均をやや上回っている。

【人口1人当たり地方債現在高】
 ・過去10年間に尾道駅前再開発事業、最終処分場建設など大規模事業を実施してきており、また平成17年度は消防防災センターの整備などによる発行額の増加などから、類似団体平均を上回っている。今後とも、必要最小限の発行にとどめるよう努力する。

【実質公債費比率】
 ・実質公債費比率は、15.0%であり、類似団体平均15.5%をやや下回っている。これは、平成13年度から実施した繰上償還の効果が現れたものと考えられる。しかし、今後は新市建設計画事業の実施による償還額増加が見込まれ楽観できない状況にあるが、起債の適正管理により現在の水準にとどめるよう努力する。

【人口1,000人当たり職員数】
 ・尾道市では、他団体にない消防局(237人)及び尾道大学(75人)が含まれているため、類似団体平均を大きく上回っている。